団体名: 武豊町商工会

the Mile Pa	古光順五 (水昌 口杯)	<b>主要</b> (中)(中	主たる	東者     目標①     得られた効果     ABCD評価     今後の展開・改善点等																					
事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	対象者		目標①				目	標②		得られた効果				АВС	D評価	i		今後の展	開・改善点等	備考			
	景気動向が不安定の中、地域内事業者の大多数を占める、小規模事業者の経営と 盤の安定強化に事業所を目的に、町内事業所をと 生目的に、町内事業所を基本年に1回の巡回訪問を基本	・巡回窓口相談指導実企業数 652社 ・巡回窓口指導延件数 1,422件		4	巡回窓	口指導	<b>尊延件数</b>	指標	課題	[解決提	案件数	巡回及びの改善業 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型				自己評価		満足度	補足	目標	小規模事業者対策 事業の柱である り、指導員を制に全職員体制によ り対応の強化を進				
巡回・窓口相談指	とし地区別に担当指導員を 割り当て、重点的な指導を 実施する。 、巡回・窓口を通じて、事業	・課題解決提案件数30件 ・経営革新承認件数0件	小規模事業者		(達成度 158.0 %)				(達成度 100.0 %)			た。また、創業や事業承継の支援も積極的に実施できた。	総合評	A	事実	A	調査結	А		両方現状維持	め、意欲ある企業 には重点的に指導 を行うなど、引続 き事業を実施す				
導事業	者の課題を把握しその解決 策の提案を行うよう心掛け、持続的な発達を支援動るため金融・税指導を・労働な と様々な相談指導を行い、 経営支援・改善を図るとと	※巡回窓口指導延件数のつち非会員への指導 指導実企業数 114件 指導延べ件数 131件	ち非会員への指導 指導実企業数 114件	ち非会員への指導 指導実企業数 114件	指導実企業数 114件	小风怪争呆有	目標	900	実績	1, 422	目標	30	実績	30		価		評側価の	目標達成度	結果の	必要性		実施方法	18.	
	もに、小規模事業者の景気 動向等の把握に努める。 また、創業・事業承継への 積極的な支援を実施する。			数值		数值	,,,==	数值		数値						Α		Α		両方現行どおり					
	小規模事業者の経理事務合 理化と省力化及び納税意識	指導企業数 記帳機械化 108企業 記帳機械指導 29企業 計137企業 指導延日数 398日 指導延回数 1,442回	記帳機械化 108企業	記帳機械化 108企業	記帳機械化 108企業			指	指導延日数			指導延回数			記帳機械化を利用することで、事業所の経理事務				自己評価		満足度	補足	目標	記帳機械化利用者 数の増加に努め、	
記帳継続指導	の高揚を目的に1年間を通 じて記帳から決算までの継 続的な指導、またコン ビューターを利用した記帳 処理・総勘定元帳の作成 成業数の作成・決算書の 成までの代行業務を行う。		小規模事業者	指標	(達成度	88. 4	%)	指標	(達成)	度 96.1	%)	合理化を図ることができた。決算申告指導により 一適正な税務申告ができ	総合	Α	事業施評側	В	事業 査 生	Α		両方現状維持	事業所の記帳事務 の軽減、また計数 管理による経営力				
				目標数値	450	実績 数値	398	目標数値	1, 500	実績 数値	1, 442	t: .	価		評側価の	目標達成度 B	だへ の	必要性 A		実施方法 両方現行どお り	向上に繋げるため 引続き事業を実施 する。				
	地域経済体化に、消費情格には、消費の広に域はり、消費の店に域はりる機能を持続した。別事を持続を持続した。別事を発生のので、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	集団指導 13回 80人 個別指導 19回 87人 計 32回 167人	13回 80人 固別指導	個別指導		指標	集団打	旨導受	講者数	指標	個別	指導受	講者数	小規模事業者が抱える課 題に対して必要な知識や 技術の習得により、事業				自己評価		満足度	補足	目標	参加者の減少が見 受けられるため、 小規模事業者の要		
講習会等			小規模事業者	目標	(達成度 101.3 %)		161%	(達成)	度 62.1	%)	者の資質向上に繋がった。 た。	総合	А	事実業施	В	調 調業 査業	Α		両方現状維持	望やニーズの把握に努め、多くの参加者が得られるよ	_				
<b>畊自</b> 女 守			小风侠争未行		79	実績	80	目標	140	) 実績 数値 87			価		評側価の		量結果 の	必要性		実施方法	う周知の徹底を図 (り、引続き事業を実施する。	'			
	ことを目的とする。			数值	73	数值	00	数值	140							В		Α		両方現行どお り					
	町・JA・商工会・地域団 体の協賛で継続実施されて いる事業であり、地域資	参加者総人数10,620人 武豊町ふるさとまつり 参		指標		参加者数		指標				来場者へ地域産業のPR をすることで、産業の活 性化に繋がった。また地	総		事実	自己評価	調事	満足度	補足	目標	地域産業のPRの ため引続き事業を 実施する。				
地域振興祭事業(地域振興まつり	「八次の派品所担の派去と	加者数7,752人(8月18日・ 19日)	中小 · 小規模事業者		(達成度	度 96.5 %)		-			%) T	域住民に対し商工会の存 在意義が高まった。	合評	Α	業施評側	Α	査者	A		現状維持					
事業)	位置付けるとともに地域の 総合的な振興を図る。	ゆめたろうスマイルマラソン 参加者数2,868人(1月 27日)		目標 数値	11, 000		目標 数値					価		価の	目標達成度	果の	必要性		実施方法現行どおり						
	町・JA・商工会・地域団 体の協賛で行う集客力を備	武豊町産業まつり(11月10 日・11日)		指標	参加	参加事業所数 (達成度 76.7 %)		七十二				町の大きなイベントで本 年も多くの来場者があ				自己評価	事	満足度	補足	目標	より多くの地域産 業のPR、活性化				
地域産業祭事業 (武豊町産業まつ	えた大規模な事業であり、 地域資源・産業資源・観光	開催場所 武豊町民会館 (ゆめたろうプラザ)	中小・	1日1宗	(達成度			7日1示	(達成)	度	%)	り、地元企業等の出店に より地域産業をPRで	総合	Α	事実業施	В	調査な	Α		現状維持	のため引続き事業 を実施する。				
り事業)	徴会とし、地域の産業振興	来客数 21,000人 参加事業所数 23事業所	小規模事業者	目標	30	実績	23	目標		実績数値		き、地域活性化に繋がった。	評価		評側価の	目標達成度	結果の	必要性		実施方法	2 7 0 0				
を図る。				数值		数值		数值		叙1直	1					В		Α		現行どおり					

<sup>※</sup> 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名: 武豊町商工会

			主たる	Π								事業	評価	fi														
事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	対象者		目標①				目	得られた効果		АВС	D評価	fi		今後の風	開・改善点等 備											
商店街振興事業	中心市街地活性化基本計画 を上位計画として同都市再 生計画に基づき「町の飼」と なる名鉄武豊駅からJR武 豊駅周辺において「まちなか	「ぎゃらりい夢乃蔵」にて地 場産業品等の展示販売 ・施設利用者数 12,351人	場産業品等の展示販売	場産業品等の展示販売	場産業品等の展示販売	場産業品等の展示販売	場産業品等の展示販売	場産業品等の展示販売		小規模事業者	指標		施設利用者数 指 (達成度 548.9 %)		指標	(達成度 %)		%)	「ぎゃらりい夢乃蔵」を利用し、観光資源の発信を行ったことで、交流人口の増加と地域商工業のPRに繋がった。	総合		事業	自己評価 A	調本	満足度 A	補足	目標上げる	観光産業資源の発 信拠点として引続 - き事業を実施す る。昨年は区画整 理の影響により期
(商店街空き店舗 活用事業)	に新しい賑わい創出」を図る とともに地域資源・産業観 光資源活性化に取り組む。		及び一般住民	目標数値		実績数値	責 12, 351	目標数値		実績 数値			一种 一种		評側価の	目標達成度 A	着への	必要性		実施方法現行どおり	中で終すが、延期にあった為、目標値も上げる。							
	街路灯を環境整備し、商店 街及び商店の環境美化と魅	・街路灯 254基の維持管理	・街路灯 254基の維持管理	・街路灯 254基の維持管理		11- 177		丁維持	維持管理基数		<u> </u>			全街路灯をLED化に伴い、商店の環境美化が向		$\neg$		自己評価		満足度	補足	目標	商店への誘導灯として、また商店街					
(街路灯設置・維	カアップを図る。さらに防犯・交通事故防止にもなることから、明るい地域の街		中小・	指標	(達成度 100.8 %)		指標	(達成度 %)		%)	上し魅力アップに繋がった。	総合	Α	事実業施	Α	事 調業 査業	А		上げる	- 等の景観美化の アップ、併せて安 全で明るい街づく								
持管理事業及び地 域限定券事業)	づくりに寄与することを目 的とする。		小規模事業者	目標数値		実績数値		目標数値		実績数値			評価		評側価の	目標達成度	結果の	必要性		実施方法	りの為、引き続き 事業を実施する。 目標についても上							
	消費者の生活形態の変化、	会議等の参加回数16回		剱1世	•	级旭	<u>u</u>	致旭		致1世		定期的に会議等を行うこ				Α		Α		現行どおり	げる。 発展会を中心とし							
	用具有業者が出来る。 地元商業者が出来る。 超解決に向け施等、起出。 解決に向け施等、武豊で がよりの実施化を高して 工業者の活性化を づくりに 的とする。	イベント3回 ・みゆき通り発展会 夏祭 り (7月) ハロウィンまつ り (10月) ・サンシャイン発展会 夏	イベント3回 ・みゆき通り発展会 夏祭	イベント3回 ・みゆき通り発展会 夏祭		指標		会議等の参加回数 す		指標				とで発展会メンバーの意 識改革を図ることがで				自己評価	事	満足度	補足	目標	た魅力ある街づく り推進を図るた					
街づくり事業			小規模事業者		(達成)	隻 126.7	7 %)		(達成度	<b>E</b>	%)	き、地域の活性化に繋がった。 また、イベントの実施により新たな集客に繋がった。	評		事実 業施 評側	Α	調査結	Α		現状維持	め、経営支援を行 う中で各事業主の 意識改革に繋げ、							
		祭り (8月)		目標 数値		実絹 数値		目標 数値		実績 数値			価		価の	目標達成度 A	果の	必要性		実施方法 現行どおり	地域活性化のため 引続き事業を実施 する。							
	町の代表的な地場産業「み そ・たまり」を中心にPR し武豊町の魅力を全国に発 信して、観光事業の振興と 地域経済の発展に寄与する ことを目的とする。	各種観光イベントへの参加 (参加回数 6回) ・ビーチランド知多半島 感謝デー・武豊ウォー カー・愛知県市町村対抗							観光イベント参加回数						武豊町PRも兼ね地場産 業の「みそ・たまり」を中				自己評価		満足度	補足	目標	地場産業を広域に PRし、地域経済				
			小規模事業者	指標	(達成)	隻 200.0	0 %)	指標	(達成度	Ę	%)	心に各観光イベントに出 店。来場者等に幅広くP Rができ、地域産業の発	総合		事実業施	Α	事業	Α		現状維持	の発展を図り引続 き事業を実施す							
産業活性化事業		駅伝「ふるさと市」 ・い いもの物産展 ・海旅展 ・常滑お笑いExpo2018 in知		目標数値		実績		目標	実績数値			展・活性化に繋がった。	評価	А	評側価の	目標達成度	着への	必要性		実施方法	各種施策の普及、							
	<b>取</b>	多半島 広報誌等の発行				数值	<u> </u>	数值				棒却エロマキリギナカル				Α		Α		現行どおり								
	緊急調査及び定期的な施 策、税制・社会保険等の改 正等、商工業者に適した情 報を周知する。	版 報誌等の発行 発行回数 6回 発行部数 4,726部		指標		<b>太報発行部数</b>		指標				情報不足でありがちな小 規模事業者に年5回の広 報発行などにより、各種	総		事実	自己評価	調事	満足度	補足	目標	合性他束の音及、  情報提供のため引  続き事業を実施す							
調査・広報事業		Ж11 прях ч, 720 пр	中小 · 小規模事業者		(達成度	雙 101.0	0 %)	<u> </u>	(達成度		%)	報発行などにより、各種 施策や法改正など必要な 情報を周知することがで	合評		業施 評側	A 目標達成度	査者 4	A 必要性		現状維持 実施方法	続ざ事果を美施する。 る。							
				目標 数値		実 数値	責 4, 726	目標 数値		実績 数値		きた。	価		価の	A A		A		現行どおり								
	青年部及び青武会(青年部の8会会)・女性上、社会員間奉の佐活の企業を通じてした。社会関係を通じてにより、地域社会のでは、というでは、またのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	(青年部)部員交流事業2回、 セナー等研修事業8回、献血 事業1回、主張発表予選会 地域まつり等事業3回、商工 会質調交数会 計16回 (青武会)会員交流事業2回、研修事業 計3回 (女性部)講習会3回、 ふるさとまつり、産業まつり、 交流会、サンナイク 計7回	t:}-等研修事業8回、献血 事業1回、主張発表予選会、 地域まつり等事業3回、商工 会貿詞交歓会 計16回 (青武会)会員交流事業2回、	ts)-等研修事業8回、献血 事業1回、主張発表予選会、 地域まつり等事業3回、商工 会質詞交歓会 計16回 (青武会)会員交流事業2回、	卡汁-等研修事業8回、献血 事業1回、主張発表予選会、 地域まつり等事業3回、商工 会質詞交歓会 計16回 (青武会)会員交流事業2回、		指標		業開催回数		指標	化塘			部員同士で多業種交流を 図ることができ、研修会 等では知識習得により資 質向上に繋がった。また 奉仕事業では地域との関				自己評価		満足度	補足	目標	地域の担い手である青年部、若手後 継者の育成を主体 に引続き事業を実 施する。また、奉				
青年部・女性部事						青年部・青武 会 (OB)	7	(達成度 130.0 %)		71 155	(達成度 %)		%)	わりにより街の活性化に寄与することができた。	総合	^	事実業施	А	調査結	А		現状維持	ルートの により地域 の発展・福祉に寄 与する。					
業			女性部員 (小規模事業 者)	目標		実絹		目標	実績				評価		評側価の	目標達成度	結果の	必要性		実施方法								
				数值		数值		数值		数値						Α		Α		現行どおり								

<sup>※</sup> 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名: 武豊町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる									事 業	評(	Б												
<b>尹</b> 来 名	争来帆安 (育京・日刊)	<b>尹</b> 来夫禛	対象者		目 標①				目 標②			得られた効果				ABCD割	価		今後の展	開・改善点等	備考					
福利厚生事業	各種共済制度の普及や従業 員・事業主の退職金等の確	各共済加入者 1,902人	<b>.</b>	指標	h 4	各共済加入者及び人間ドッ ク等受診者数		指標				商工業者に適した共済や 健康診断を斡旋し、また	6/1		<b>=</b> =	自己評価	満足度	補足	目標	企業経営安定のた め引続き事業を実						
	保、健康診断の斡旋により 企業の健全な育成に資する	・人間ドック、健康診断受診者数	中小・ 小規模事業者 及び		(達成度 101.4 %)				(達成度 %)		%)	従業員の福利厚生を充実させることで従業員の定	総合評		事実 業施 評側	A 語彙成度	K A S		現状維持	施する。						
	ことを目的とする。	126人		目標 数値			目標 数値		実績数値		着が図れ経営の安定に繋 がった。	価		価の	目標達成度果	ト 必要性 D		実施方法	_							
		計 2,028人		釵旭	数值 2,028	釵1世	<b></b>		1					Α	Α		現行どおり									
	事業主等の委託を受けて、 労働保険料の申告納付、そ の他労働保険に関する各種	事務受託事業所数140件 ・業務委託事業所の年度更 新手続き並びに労働保険に		指標		事務受託事業所数		指標				事業主の事務が軽減され、労働保険法の改正も 周知することができた。				自己評価	満足度	補足	目標	委託事業所の事務 処理軽減に繋がる など事務組合加入						
労働保険事業	田出等の事務手続きを行う ことにより、事業主の事務	関する事務指導を行うとともに、愛知労働局及び職	小規模事業者		(達成度	96.6	%)		(達成度	ŧ	%)	未加入事業所へも必要性 ・を説明し加入推進するこ	総合		事実業施	B 調 査	Ř A		現状維持	のメリットを活用 できるため、引続						
刀刨体医手术	負担を軽減し、経営の安定 化に資する事を目的とす	安、監督署との連携を図った。	1 M K F X L	目標数値	145	145 実績 140		目標	実績		ŧ	とができた。	評価		評側価の	目標達成度果	必要性		実施方法	き事業を実施する。						
	<b>る</b> 。				1	数値		数值		数值	Ī					В	Α		現行どおり							
	税務支援団体である法人会 等の活動をサポートするこ	(青色申告会) 会議等1回 (法人会) 会議等7回、研修会3回、 社会貢献事業1回	会議等1回	会議等1回	会議等1回	会議等1回	会議等1回		Jb- 130		会等の	会議等開催	4F 13E				税制改正など税務知識の 習得、適正な申告納税の 推進を図ることができ				自己評価	満足度	補足	目標	税務に関する事項の周知を図るため	
青色申告会・法	とにより正しい税務知識の 習得を図り、正確な申告、 人 納税の推進を目指す。ま		中小・	指標	(達成度	120.0	%)	指標	(達成度	ŧ	%)	推進を図ることかでさ た。また会員間の情報交 流の機会になった。	総合		事実業施	A 調査 結	ξ A		現状維持	引続き事業実施す る。しかしなが ら、青色申告会が	:					
会事業	た、参加会員間の情報交換 の場としての役割を果た	計12回	小規模事業者			実績	吉 日標	目標	<b>宇</b> 績				評価	А	=cr. /pul	目標達成度 果	必要性		実施方法	解散する予定の 為、法人会のみの						
	し、地域の商工業の活性化 を目指す。			目標 数値	10	数値	12	数値		実績 数値	Ī					А	А		現行どおり	取組みとなる。						
産業団体事業	商工業団体等指導は、業種 別に実施しており、団体主	加入事業者数 948件 ポイントカード事業 36件		指標	加入事業者数 (達成度 94.8 %)		指標	(達成度 %)		•	小規模事業者の経営資源 を補完し、事業者の経営				自己評価	満足度	補足	目標	団体組織の強化育成を図るため引続							
	導を基本とし、地域商工業 者の発展に寄与することを	建設組合知多支部 806件 リフォーム相談事業 17件	小規模事業者	7111 1731			扣係			%)	改善と団体の自主的意識 が高まり、地域の活性化	総合		事実 業施	B 査	Ř A		現状維持	き事業実施する。							
	目的とする。	飲食組合事業 16件 環境支援事業 73件	小水长尹未行	目標		目標		実績	ŧ	に繋がった。	評価	^	評側価の	目標達成度	必要性		実施方法									
				数値	., 000	数值	340	数值		数值	I					В	A		現行どおり							

<sup>※</sup> 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。